

互いの違いを理解し合い、共に前へ！

校長 浅野 博 一

6月6日(金)北区PTA連合会の会合の後、三貫清水を訪れました。大型のゲンジボタルの舞う姿を鑑賞することができました。今頃は、小型のヘイケボタルの出現に変化していることと思います。…生物の輝かしい姿から、暗黒の大宇宙に浮かぶこの青い地球の素晴らしさを改めて感じます。

3年生の子どもたちが、「アゲハチョウがさなぎからかえったよ！」と目を輝かせて満面の笑みで校長室にやってきました。自然の神秘・生命の巧みさを全身で感じ取る姿にしあわせな気持ちに一つまれました。

…子どもたちの姿からは、たくさんの感動をいただいています。子どもたちが登校して、健康観察が始まる前の朝休みの時間。職員室から外を見ると、4年生の男の子が、倒れている「ヘチマの植木鉢」を立て直しています。自分の鉢植えというわけでもなく、強風で倒れてしまっている鉢植えを次から次へと立て直してくれているのです。

ふと、6年生の姿にも重なりました。校外学習に出かけた際の出来事です。科学技術館でお弁当を食べて国会へ移動する時、学年の最後に、お弁当を食べた部屋を出る6年生達が、教師から指示されたわけでもなく、学年全部の椅子を点検し、整えながら部屋を出ていたのです。

勿論、全員が自分の椅子をきちんと整えて出れば済む事ですが、1つ残らずということは、なかなか難しいことでしょう。教師から言われて行うのではなく、自然と自ら行う姿に、とても感心しました。

…一方で、発達途上の子どもたちが集団生活をすれば、もめごとやぶつかり合いも当然起きてきます。わたしたち大人は、この時こそ、成長のチャンスと捉え、向き合っていきましょう。

子どもが感じたその思いに寄り添うことは大切です。ただ、すれ違いはないか・行き違いはないか、冷静に状況を把握して、当事者同士お互いを理解し合うことも大切でしょう。

慶応義塾大学今井むつみ教授著『人生の大問題と正しく向き合うための認知心理学』に、興味深い記述がありました。「そもそも、私たちは、【客観的に】世界を見ることができるのか？」上記のQRコードでは、日本経済新聞の記事につながりますが、その記事のドレス写真は、私には「白と金」に見えますが、実際は、「青と黒」とあるといえます。

これは、色覚異常ではなく、照明ライトをどのように仮定して、照明と影をどのように推論しているかに個人差があり、この認知過程の個人差から、ドレスの色の見え方が人によって変わるようです。

・・・今井教授はこう語ります。『人は、間違え、偏った視野をもち、誤解するもの。だからこそ、どう人とつきあい、社会を生きていくか』同じドレスの写真を見ても、認知過程の個人差から、見え方が変わってしまう。世界でも文化や考え方等の違いから紛争も絶えません。

また、同著『「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか?』にも新たな視点を得ることができました。『「人は都合よく解釈し、誤解し、忘れるのか」を知り、…そうした特徴をもつ人間同士が、それでも伝え合えるように考えることが「いいコミュニケーション」の実現には不可欠』・・・多様な子どもたちが、互いの違いを認め合い、理解し合い、連帯していけるよう私たち大人も力を合わせてまいりましょう。

1学期も残りあとわずかとなりました。集団生活の中で、お子さんが社会性や人間性を磨き、たくましく成長していけるよう、つばさ小教職員は丸となり全力投球します。どうぞよろしくお願い致します。

令和7年度さいたま市硬筆展覧会 【推薦賞】

- 2年
- 4年
- 5年
- 6年

【特選賞】

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年
- 5年
- 6年

【優良賞】

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年
- 5年
- 6年

つばさ小学校の様子

<<教育長訪問>>

さいたま市教育委員会 教育長が6月4日(水)につばさ小学校の児童の様子を見にいらっしゃいました。つばさ小学校の児童が笑顔であいさつをしている様子を見て、「とても元気がよくて素晴らしいです!」とお褒めのお言葉をいただきました。

<<避難訓練(竜巻)>>

6月17日(火)に竜巻を想定した避難訓練が行われました。竜巻発生時の基本動作やシェルターの作り方を事前確認し、緊急校内放送を活用して訓練いたしました。